

希望坂(北中だより)

第12号 令和2年10月14日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◇高校入試に向けての動き◇

10月1日(木)に県教育委員会による県立高校入試に関する説明会がありました。校長と第3学年主任の木下教諭が参加しました。説明の詳しい内容は、11月5日(木)に開催予定の進路説明会で第3学年担当から説明をする予定ですが、主なものをいくつか挙げておきます。

○入試期日は、「特別選抜」が2月4日(木)、「一般選抜」が3月3日(水)・4日(木)である。

○「特別選抜」の(高校が申請する)学校希望枠が拡充された。これは、国民スポーツ大会延期に伴う本年度のみの措置である。

○昨年と同じく、3月の「一般選抜」の際に、「選考1」「選考2」の2段階選考を行う。

○出願書類のパソコンによる作成がすべて可能になった。また、出願の様式がいくらか変更になっている。

○今年度もインフルエンザ等によるやむを得ぬ事情で「一般選抜」が受けられなかった者に対して「追検査」を設定する。新型コロナウイルス等に係る事情にも配慮していく。

○入試当日の検温が義務付けられる。 など

生徒には校内で行われる課題テストや SAGA テストの結果を参考にしつつ、進学をしっかりとって、進路の志望をしてほしいと思います。そして、保護者との話し合いを丁寧に行い、三者面談での進路決定をしてください。



◇新人大会・駅伝大会での活躍◇

9月26日(土)の三養基地区新人大会では、8つの部活動の1,2年生が、これまでの練習の成果を久しぶりの試合にぶつけていました。

夏の大会に引き続き、コロナ対策を行いながらの大会参加になりましたが、大きな問題もなく行うことができました。

大会結果は、まちコミメールでも速報をお出ししましたが、以下の通りです。

○剣道団体 男子 優勝 女子 優勝

男子個人1位 弓 翔太 2位 原 豪志

3位 福山日登輝 3位 最所飛翔

女子個人1位 吉村美咲 2位 武田圭依

○バスケットボール男子 優勝

○バレーボール女子 優勝

○卓球女子 個人 1年生の部

1位 中島結衣 2位 高島梢加

3位 佐藤礼央奈 3位 橋本怜奈

10月8日(木)の地区駅伝大会は、台風の影響で強風の吹く吉野ヶ里歴史公園で行われました。まず女子の部が行われ、1区から好走でたすきをつなぎ、4区、5区の区間賞の走りで見事優勝でした。女子の走りに刺激を受けた男子も、1区から勢いを見せ、6人の走者のうち4名が区間2位の激走で、準優勝となりました。このあと男女ともに地区代表として県大会に出ます。

○地区駅伝 女子 優勝 男子 2位

○区間賞 女子4区 西村遥華 5区 藤村琴海



※県大会は11月6日(金)に福富マイランドコースで、無観客で行われます。

◇10月 全校集会から◇

10月12日(月)に久しぶりの全校集会を行いました。たくさんの表彰があり、そのあとで数名にインタビューをしましたが、どの生徒もしっかりと自分の考えを自分の言葉で話すことができていました。表現の力と態度を養うことは大切だと思いますので、教科の授業中だけでなく、様々な場面で生徒の出番をつくりたいと思っています。

表彰の後で以下のような話をしました。

「先の体育大会から中体連新人戦、地区駅伝大会では、みなさんは『出番・挑戦・感動』の場を作り上げてくれました。自分のやりたいことに安心して挑戦できる環境とは、有難いものです。

さて、『安心して生活できる環境』は、黙っていてもできないものです。どうしたらできるのでしょうか。それを考えていたら、こんな言葉に出会いました。それは、『心は見えない。心づかいは見える』という言葉です。本当に心は理解するのが難しいです。ですから人は誤解をしたり、不安になったり、疑心暗鬼になったりもします。ところが、心づかいは行動となって現れますから、わかりやすいです。

たとえば、友達にアドバイスをするときも、こんなこと言ったら相手は嫌だろうなと思ったら、『友達だから言うんだけど』『君のことを応援しているから言うんだけど』と一言添えるだけでも、伝わり方は変わります。

感謝の気持ちをもっていれば、それは言葉や行動にして見えるようにすれば、相手に伝わります。わかってほしいことは、伝えなければ伝わりません。それは、挨拶も一緒です。相手が『おはよう。』と言ったのに対し、自分は心の中でつぶやいたり、首をかくんとしていたりするだけでは、相手には無視されたと受け取られがちです。

SNS 上では、心づかいとは真逆の言動で他人を攻撃する人がいます。そのことにより人の命が失われるという大変な問題も起きています。怖いのは『コロナ』よりも『心づかいのない言葉』つまり、『心ない言葉』ではないでしょうか。

学校という環境では、一人ひとりが学ぶ目標をしっかり持ち、互いに応援し合う温かな雰囲気があれば、生徒の力はどんどん伸びます。そんな学校、学年、学級づくりのために、今日からあなたは、どんな『心づかい』を見せますか。」



◇授業におじゃま◇

10月2日(金)に3年3組の社会科(公民)の授業におじゃましました。楠元教諭の授業でしたが、生徒は開始1分前に黙想をし、復習の5問テストからスタートです。

「公共の福祉と個人の人権」について考えるために、新型コロナウイルスに感染した場合の、教育を受ける権利と他者の生存権について議論することから、本時のめあてにアプローチがなされていきます。

さらに、「村長は津波に対する防災の観点から村に水門を作りたいが、地主は反対しているケース」について生徒は考えます。公共の福祉の観点から立ち退きを求めることができるか、財産権、環境権、生存権など憲法の条文に根拠を求めながら、熱心にグループ討議をしていました。

その後、グループで考えを1つに集約し全体に説明します。実際の事例をもとにしたインパクトのある授業であり、ICT機器や小ホワイトボードなど、教具の工夫もありました。



◇表彰◇

○2020Saga Autumn Junior Swim Meet

男子400m自由形 1位 山下慶大

男子200m自由形 1位 山下慶大

○2020Kyushu Saga Junior Swim Meet

男子100m平泳ぎ 2位 北村歩夢

男子200m平泳ぎ 2位 北村歩夢

女子100m背泳ぎ 1位 中嶋夕璃菜

女子200m背泳ぎ 1位 中嶋夕璃菜

女子200m個人メドレー 2位 藤村琴海

女子50m 自由形 2位 藤村琴海

女子100m平泳ぎ 3位 藤村琴海

○第33回佐賀県吹奏楽ソロコンテスト

金賞 高柳 心

○県下中学生体重別柔道大会

50kg級 2位 田中 拓実



◇今後の予定◇

10月14日 3年 SAGA テスト(～15日)

15日 脊柱検査(全学年)

20日 学年合唱コンクール

23日 文化発表会 学校評議員会

27日 各部委員会